【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公開番号】特開2009-112763(P2009-112763A)
【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2009-021
【出願番号】特願2007-334815(P2007-334815)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成22年12月16日(2010.12.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
予め定められた所定箇所の遊技媒体の通過を検知する通過検知手段と、
当該通過検知手段の検知結果を入力し、その入力した検知結果に基づいて、前記所定箇所の遊技媒体の通過を特定する制御手段と、
を備えた遊技機において、
前記制御手段は、
前記通過検知手段の検知結果を入力する入力手段と、
当該入力手段に入力されている入力情報を、確認タイミングとなる度に確認する確認手段と、
当該確認手段により確認された前記入力情報を履歴情報として記憶するとともに、当該履歴情報を前記確認手段によるその後の複数回の確認タイミングに亘って記憶保持する履歴記憶手段と、
当該履歴記憶手段に記憶された前記履歴情報に基づいて前記通過検知手段にて遊技媒体の通過を検知していることを特定する通過特定手段と、
を備えており、
前記履歴記憶手段は、所定の確認タイミングを含めて３回以上の回数として定められた基準回数分の確認タイミングに対応した前記検知結果の情報を、前記履歴情報に基づいて前記通過特定手段にて把握することが可能なように前記履歴情報を記憶するものであり、
前記通過特定手段は、前記基準回数分の前記検知結果の情報のうち、最初の回又は最後の回のいずれか一方が遊技媒体を検知していない検知結果に対応した情報であり、その他が遊技媒体を検知している検知結果に対応した情報である場合に、前記通過検知手段にて遊技媒体の通過を検知しているとする演算結果となる演算処理を実行する演算処理実行手段を備え、当該演算処理実行手段の演算結果に基づいて、前記通過検知手段にて遊技媒体の通過を検知していることを特定するものであり、
さらに、前記入力手段は、前記入力情報を、複数の通過検知手段の検知結果に対応させて入力するとともに、
前記履歴記憶手段は、前記履歴情報を、前記各入力情報に対応させて記憶するものであり、
前記演算処理実行手段は、前記各通過検知手段のそれぞれについて演算結果を得るよう

に前記演算処理を実行するものであることを特徴とする遊技機。